



くろするる〜ど

がっこう
2018/12月号

かいほうし
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよたすあ 仲良く助け合っ
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、ねが かつどう
つづ 活動を つづ 続けています。

げっかん がつ 〜サロン月間カレンダー12月〜

にほんごがくしゅうはっぴようかい さんか 「日本語学習発表会に参加しよう！」

ぶんかこうりゅうかつどう ■文化交流活動

がつ 12月14日 (金) 午前10時30分〜12時

「生け花教室」15名・花代500円

場所：サロン第1会議室

申し込み締切り：12月13日12時まで

がつ 12月21日 (金) 午前10時30分〜12時

「折り紙」20名・有料 (折り紙代)

場所：サロン第1会議室

申し込み締切り：12月19日12時まで

いじょう たいしやう 以上の対象はサロン学習者とボランティアの方。

★申し込みと詳しいことはサロン事務局まで。

■「サロンの集い」

がつ 12月7日 (金) 午後6時30分〜8時30分

受付開始：午後6時より

場所：プラッツ・バルトホール

(ル・シーニュ5階)

各国の料理を作り、味わい、アトラクションを
たのしみながらボランティアと学習者と市民の
交流を深めます。

★申し込みはサロン事務局まで。

はな はな はな 〜話せるかなあ？ 話そうか… 話そうよ！〜

今年度も「日本語学習発表会」を行うことにな
りました。昨年度は、7ヶ国15名の学習者の方々が
参加し、日頃サロンで学んでいる日本語の成果を
発表しました。日本での生活で苦労したこと、面白
い発見、楽しかったこと等を、皆さん、一生懸命に
話してくださいました。その中には、笑いを誘うも
の、日本人が普段気がつかないこと、新しく知るそ
れぞれの国のことなど、その内容はとても魅力に富
んでいました。

今年度は、2019年3月9日(土)に開催すること
に決まりました。学習者の皆さんの参加をお待ちし
ています。

日時：2019年3月9日(土) 午後1時開始

場所：サロン第2〜4会議室 (学習会の部屋)

内容：第1部・日本語発表会

第2部・懇親パーティー

応募資格：サロンで日本語を学習している外国人

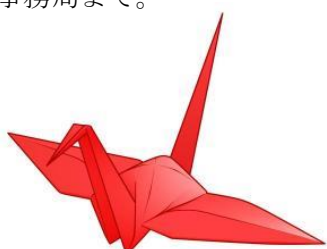
発表テーマ：自分の国のこと、日本で体験したこ
となどスピーチのテーマは自由です。

発表時間：4分以内

募集人員：15名ぐらいを予定。発表者全員に参
加賞をさしあげます。

応募締め切り：12月21日(金)

■応募用紙はサロン事務局にあります。詳しいこと
は、サロン事務局でお聞きください。(編集部)



世界の文化

「はじめての書道体験」

久保田レベッカ (フィリピン)

私と書道の初めての出会いはサロンでの週に一回のお茶会でした。筆、半紙、ぼくえき、すずりなど、お道具をすべて準備していただきましたので手ぶらで参加出来ました。

平松先生も英語と日本語を混ぜて丁寧に指示いただきました。一番最初には筆の持ち方の説明でした。三本か四本の指か、自分の書きやすい方を選ぶ様にと言われました。私は三本の指を使うと決めました。筆は立って持つ、鉛筆と偉い違うと難しいなどおもいました。

半紙はつるつるの方を使えます。ぼくえきはすずりの凹面のところにおいて、筆にたっぷりつけました。それで漢字の「友」を筆で書ける様に揃えてもらいました。四つの書き順の引き方の練習にはじまります。半紙と向き合って、一の線の練習と次のかたかなのノで何とか書きました。しかし、三番目と最後の書き順が失敗ばかりになかなか上手くいかなかった。思い通りの線が書けませんでした。

決められた時間の中でなんとか完全になるために先生が助けの、もひとつの手本の紙もいただきました。それは手本の字の線に細く筆の正しい引き方を詳しく印刷されました。細い筆に薄いぼくえきをかけて、この手本をなぞりました。それに半紙を重ねて掛けてなぞって書きました。けれども何かい挑戦しても思い通りにならなかった。手と腕の疲れも感じ始められた。書道は全身にかかる気がつけました。難しいは字のバランスです。だから正しい姿勢で心かけて書けないと上手にならないと分かりました。

最後の力を絞って、筆の動き方と線に集中して何度もまた書きました。手本の「友」は友達のことでも急に想いに入れさせて励みになりました。大変でしたが一番気に入って作品が出来上がった時の喜び

は何倍でした。参加したやりがい大きい。

さいごに平松進先生、橋本せい子先生、斉藤久子先生と吉村まみ子先生、心から本当にありがとうございました。



ボランティアの平松さんから指導を受ける
久保田さん(左から二人目)



参加された皆さんの出来あがった作品



「こんな学習もしています」

日本語学習会では、学習者のニーズやレベルに合ったテキストを使い、いろいろな工夫をしながら学習をしていることと思います。金曜夜の学習会で日本語を学んでいる王雪氷さんは、「みんなの日本語」中級Ⅱの第18課の課題(村上春樹の短編小説の一部分を題材にシナリオ化するもの)に取り組み、小説の部分抜粋に続くストーリーを、自分のアイディアで創作しました。それを紹介します。

「創作ストーリー」

おう せつひよう ちゆうごく
王 雪氷 (中国)

「みんなの日本語」第18課の「鉛筆削り」の物語の続きー。

渡辺さんは、テーブルの上の1963年型マックスPSD鉛筆削りをじっと見ていると、遠い昔のことを思い出していた。

自分が昔ずっと欲しかった鉛筆削りを手して子供に誕生日プレゼントした。しかし、その1ヶ月後、子供がクラスメートを助けるために、川に流されてなくなった。子供の遺品整理の時に一つの作文が出てきた。タイトルが「父からの誕生日プレゼント」ー

「父からのプレゼントは変なものだった。ゲーム機を欲しかったのに、鉛筆削りだった。それは多分父さんの部屋に入ってた時、本棚にある鉛筆削りについていろいろ聞いたかもしれない。しかも絶賛したと思う。きっと僕も鉛筆削りが好きだと誤解したかもしれない。

でも、嬉しいんだ。父からのプレゼントは父の一番大切に保存したもの、要するに、僕には父が一番大事だと思えるものが、より大事だ。だから嬉しい。大事に使う。でも、やはりゲーム機がほしい。

僕は子供ができれば、ゲーム機をあげようかな。」
渡辺さんはいつのまに泣いていた。落ちる涙が空中の粒子とぶつかりながら台所の床を叩いて、いろいろ振動させた。

渡辺さんの目は潤んでいるが、顔が柔らかくなった。

「どうした？」

このタイミングを逃して、このままの状態がずっと変な空気になることを恐れながら声をかけた。

「すみません、子供のことをいろいろ思い出して」

「渡辺さんの子供もきっと鉛筆削りが好きだったんでしょ」

「僕ほど好きではなかったみたい...」

渡辺さんはポケットから、綺麗に折ってある紙を取

り出して、息子の作文を「僕」に見せてくれた。息子がなくなったことも話してくれた。

あのプレゼントの鉛筆削りも子供と一緒に流されて、結局探せなかったことも。

「僕」は、いつの間にか自分が泣いているのに気づいた。泣くのはそもそももう何年ぶりだろう。

一番最近では多分父とタイのピーピーレイ島に旅行した日かな？父との旅行は初めてだった。

父とタイに着いた日の日記が非常に短かった。

「3月4日、天気 晴れ 今日非常に嬉しい。」

翌日、シュノーケリングの途中、父がそばで死んでいた。ビーチで父の体を揺らしたが、反応がなかった。映画でいろいろ救急のシーンを見てたが、一つも覚えてなかった。

人工呼吸だけをした覚えがあった。そして、走ってた。病院の廊下の光が非常に眩しかった覚えがある。

それ以来、父からももらった鉛筆削りがずっと作業テーブルの上に置いてあった。

「渡辺さん、これあげます、鉛筆削り。」

父の好きだったものは、それを愛してくれる人に返そう、きっとそれは父が望んだもの。

以降、渡辺さんと「僕」の再会はなかった。

わたしのふるさと ~7~

アミラ アリ (エジプト)

15歳から住んでいたアレクサンドリアを紹介します。とても古くて有名な町です。アレクサンダー大王が作りました。エジプトの北、地中海に位置しているので、冬はあたたかいです。夏はずすいです。

いろいろな歴史の場所があり、ローマ、ギリシャの博物館や、カーイト・バイの要塞などあります。

ここは、昔カーイト・バイ王が住んでいたお城です。春になると、すべての人々は、ビーチや動物園へ行きます。

春のお祝いのとくべつな食べ物は、いろいろな色

をつけたたまご、パン、ねぎ、フィッシュです。フィッシュは塩で発酵した魚で、とてもおいしいです。

ラマダンのとき、すべての家のベランダでランタンをつるします。

どこの屋台でも豆とフェラフィルを売っています。フェラフィルは、豆のペースト、ニンニク、たまねぎ、せろり、スパイスなどをミックスしてまるめ、ゴマをふって、あげたものです。



フェラフィル

すべての人々はクナファをたくさん作って食べます。甘くてとてもおいしいお菓子です。

夏は雨が降りませんが、冬は11月20日頃から雨季がはじまります。



カーイト・バイ城 (要塞)

報 告

第5回スキルアップ講習会報告

「日本語が初めての人への教え方」

～ 教案作りと発表 ～

研修部会 萱生由美子

11月10日(土)は、上記のタイトルで6グループがそれぞれ準備した教案をもとに、7分間の模擬授業を発表しました。26名が参加しました。

きちんと準備して臨んだグループ、色々な理由で十分打合せが出来なかったグループと様々でしたが、皆さん頑張って発表してくれました。

評価する基準(コメントシート)の内容は以下の通りです。

導入方法 ・状況、場面は適切だったか

・語彙、文型のコントロール

練習 ・指示は明確だったか

・発話を促す練習となっていたか

・テンポは良かったか

補助教材、板書 ・有効な教材、板書だったか

学習者への対応 ・教師が話しすぎていないか

・雰囲気作りが出来ていたか

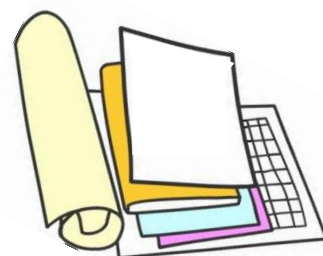
各グループの発表後に柏崎先生から詳しい講評がありました。

その中で共通して多かった指摘は、教える側が学習者の知らない言葉は無意識に使って話している、というものでした。入門レベルの人には、余計な言葉を使わない(語彙コントロール)というのが鉄則ですが、これは教える側がいつも意識する必要があります。実際には慣れないと難しいことなので、誰でも一度や二度の失敗経験がありそうですね。

そして、教材、教具に関しては、絵や地図、現物(レリア)を多くのグループが効果的に使っていました。

また、くり返し(リピート)を上手にさせることで、語彙や文型が定着します。学習者の良いところを褒めながら、リラックスした楽しい雰囲気での授業を進めることも大切な要素です。

最後に、他の人の発表を見ることで気付くことがたくさんあった、という感想が多く寄せられました。参加した皆さま、お疲れ様でした。(なお、詳細は記録をご覧ください)



ひなんくんれんほうこく 「避難訓練報告」

きんようごご かたくらあつみ
金曜午後ボランティア 片倉敦美

毎年増加を続ける訪日外国人ですが、今年9月の訪日外国人数は、昨年9月の人数228万人を5.3%下回る216万人だったそうです。前年同月を下回るのは2013年1月以来5年8ヶ月ぶりとのこと。関西で猛威をふるった台風21号の影響で関西国際空港が閉鎖になったことや、9月に起きた北海道胆振東部地震の影響によりキャンセルが続出したことが大きな要因ですが、日本では、ここ数年、毎年のように地震を始めとする大きな災害が起きています。地震のない国の学習者の皆さんには地震の多い日本が怖く映るかもしれませんが、日本では地震を想定した避難訓練が数多く行われています。

9月28日(金)金曜午後部会で避難訓練が実施されました。私は日本語ボランティア歴がまだ1年の新人ですが、この度、避難訓練の金曜午後部会の担当をさせて頂きました。当初、何から始めてよいやら皆目見当が付きませんでした。諸先輩方のお力を借りながら無事終了することができました。

府中市役所や消防署への書類申請やら国際交流サロンが入るビルの駐輪事務所への事前挨拶をしました。避難訓練当日は、大地震を想定し落下物回避の為にいったん机の下に隠れ、その後第一小学校までの避難を行いました。府中消防署内敷地では用意された起震車で学習者の皆さんが震度7の激震を体験しました。揺れの大きさに驚いた学習者も多かったかと思えます。普段使うことがない消火器の使い方が会得できたのも大きかったです。

実際に大地震が起こった時には、道路は様々な物が倒壊しガラスや電線等の危険物も散乱していることが安易に想像できます。そのような状況下で落ちて着いて冷静に行動し避難できるかどうかが一番大事なことかと思えます。

避難訓練は訓練を通じ震災時の注意事項を参加した学習者とボランティアの皆さんが共有し再認識できることに大きな意味があります。「備えあれば憂いなし」ですが、本物の大地震が来ないことを祈るばかりです。

わたし 私の☆つづがやき

きょういく きょういく きょういく なん
「教育・共育・協育って何ぞや？」

すいよう すえだけいじ
水曜ボランティア 末田圭治

現在、大学(通信教育)の授業で、ミュージカルのMy Fair Lady『マイ・フェア・レディ』を通して学んでいます。(現役の男子学生です)

初演のヒロインはジュリー・アンドリュース、映画の主演はオードリー・ヘップバーンです。原作は、イギリスの劇作家ジョージ・バーナード・ショーが執筆し、1913年に初演された戯曲『ピグマリオン』です。この物語は、花売り娘のイライザと、誰の発話からも出身地を当てるといふ音声学の天才である言語学者のヒギンズ教授が出会い、ヒギンズ教授がイライザの労働者階級風の発声・喋り方を上流階級風に矯正していく言語教育の話となっています。ヒギンズ教授は傲慢で自己中心的でイライザを教育の材料とみている言語教育に熱心な学者。イライザは労働階級の活気に満ちた人々の中で育ち上流階級にあこがれを抱く若者。やがて、イライザはヒギンズの厳しい教育に反発しながらも上流階級の発声・喋り方を習得します。習得する過程でイライザは自我に目覚め、ヒギンズと対等に会話できるように成長し、ヒギンズはイライザの成長により階級の相違を超えた平等な人間として扱うことを知るようになります。Fairの意味が「美しい」から「対等の」に変化していくのです。

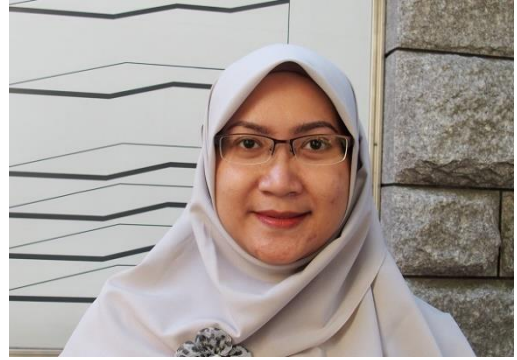
言語教育を通じて、二人は共に人間的な成長をしていきます。最近、共に学び、共に成長する「共育」という言葉を目にするのですが、この言語教育は、「共育」を表現していると言えるでしょうか。また、この二人の周りには、授業料を支援するピカリング大佐や、二人の悩みの相談に乗るヒギンズ教授の母親も登場します。彼らも二人のために互いに協力し合っています。これも最近、目にする「協育」という言葉が当てはまるでしょう。習得の目標を達成したとき、二人が喜び踊ったあとの歌「一晚中

でも踊れたのに」は名曲であり、いつまでも聞いていたいと思わせてくれます。

この話は日本語教育に携わる人にも当てはめられるでしょう。日本語教育は、ボランティアが学習者に教育をしているように見えて、実際はボランティアも学習者と共に学び、共に成長する「共育」になっているように思いますし、そうならざるを得ないだろうと思っています。また、市区町村や住民、家庭と互いに協力し合って生活支援などを進めていることは「協育」とは言いえないでしょうか。この「共育」と「協育」の日々の活動により、その成果を共に分かち合う希望の未来へ進んでいきたいと思っています。「一晩中でも踊れたのに」の曲と、歌うシーンを思い浮かべながら…。

みな がくしゅうしゃしょうかい 皆さんよろしく◇学習者紹介

ユスティナ オクタフィアニさん(インドネシア)



だいがく にほん ぶんか べんきょう 「大学で日本の文化を勉強しました」

ユスティナさんは、ご主人の留学(東京外語大学、博士課程)のため2018年4月に府中に来ました。

学生結婚だったお二人は、14歳、7歳と3歳のお子さんたちと一緒に、忙しい日を送っています。

首都ジャカルタの東南180キロにあるバンドゥン市にある国立パジャジャラン大学で日本の文化と日本語を勉強しました。ですから、とても日本語は上手で、すでにインドネシアでN4に合格しているので、N3の勉強を始めたところです。

日本の印象は、道がきれいで、公園が沢山あるのは素晴らしいですが、物価が高いのには驚いています。

趣味はお料理をすることで、現在はインドネシア料理を主に作っています。日本の焼き鳥と同じようなサテという料理は、炭をおこして焼き、ピーナッツソースをのせます。日本のものでは、みそ汁、たこ焼きが好きで、家族の中では、ユスティナさんだけは納豆も食べられます。

将来、インドネシアに帰ってから、日本料理と日本語を教えたいという夢を持っているので、日本料理も勉強するつもりだそうです。

おしゃべりが好きというユスティナさんは、サロンでたくさんお友達が出来ると良いでしょう。(堤 林)



ひろ ば みんなの広場

今年度の 東京外大との連携プロジェクト

平成26年度から、サロンは、東京外国語大学内藤ゼミ（以下外大）と、市と一緒に、外国人にわかりやすい情報提供を行うために、毎年テーマを決めて生活便利帳を制作しています。

今年度のテーマ

今年度のテーマは、「公共施設」です。様々な公共施設を外国人も活用できるよう、紹介する予定です。

（過去には、次のようなテーマをとりあげています。平成26年度：防災、平成27年度：出産・子育て、平成28年度：ごみの捨て方、平成29年度：高校進学・進路。冊子やインターネットで情報を見る事ができます。）

サロン代表メンバー

「公共施設」について生活便利帳は、次のボランティアが代表となって作成しています。

| | |
|--------|------------------|
| 月曜午前部会 | 笹崎 綾子さん |
| | 江澤 順子さん |
| | 桑島 宗利さん |
| | 水元 三奈子さん |
| 水曜午後部会 | 村上 由美子さん |
| 金曜午後部会 | 吉池 美紀子さん |
| 金曜夜間部会 | 井原 博美さん（外大との連絡員） |

普段の活動・協力のお願い

毎週金曜日に、外大の授業があり、履修している学生が、進捗状況の週間報告をサロンの代表にします。サロンの代表は各所属部会に報告し、意見を募りますので、たくさんの方々に使いやすい便利帳を作るために、ご意見をいただきますようお願いいたします。

現在の状況

現在の状況としては、10月に外大の学生が、サロンを見学しました。学生は学習者にインタビューやアンケートを行い、公共施設のニーズも含め、外国人の状況を知りました。また、便利帳に掲載するため、各公共施設を訪問し、調査しました。11月16日（金）には東京外国語大学インターン生の中間報告会があり、各公共施設を調査した報告、便利帳の構成の相談等を行いました。

サロンの代表は、学生の週間報告を受け、アドバイス等を行っています。学生がサロン見学時に実施したアンケートは、一部にしか実施されていなかったために、サロンで再度アンケートを実施しました。また代表の数名で中間報告会にオブザーバーとして参加しました。

今後の予定

11月30日（金） 12：40～14：10 サロン・外大・市
意見交換会①（場所：外大）
12月21日（金） 12：40～14：10 サロン・外大・市
意見交換会②（場所：外大）
1月18日（金） 10：30～12：00 便利帳の発表会・意見
交換会（場所：第2～4会議室）
3月末 便利帳発行予定
1月18日（金）の発表会・意見交換会には、ぜひ
ボランティアの方も学習者の方もご参加ください。
（協働推進課）

「ホームページの担当になりました」

水曜ボランティア 末田圭治

11月よりサロンのホームページ（HP）を担当することになりました。前任者の増田さんには、担当後もアドバイスを頂き感謝しています。HP担当は毎月の変更箇所を反映（修正）するだけと思いきや、まず、サロンに行き、先月分のHPのファイルを事務の人に頼んでカギのある棚から取り出してもらい、ファイルを開いて変更箇所を見つけ、どう修正すべきかを考えて、HPの仕様に沿って修正、保存し、表示をして確認をすることを繰り返します。表示に間違

いかなければ、正式な場所にファイルを移動しますが、その時に覚えていないIDやパスワードが必要になるので、その情報を見つけて使用し、どれを移動すべきかを確認しながらファイルを移動します。そして正式なHPの表示に間違いがなくなるまでファイルの移動、不要なファイルの削除を繰り返します。その後、修正したファイルを次の修正のために保存して、事務の人に頼んで棚に納めてもらいます。以上の手順は1文字の修正でも行うことになります。増田さんの長年にわたる陰のご苦労の一端を知ることになり驚きと感謝が湧いてきます。この陰の苦労で思うのは、先日のスキルアップ講習会で行った教案作りです。苦労して教案を何回も作り直したり、発表しても反省材料だけが残ったり。でも文字パネルなどの教案作りの陰の努力を見ることもあり、その努力に、すごいなあと感服していました。

「楽しみ～！」

12月7日の「サロンの集い」のお料理が決まりました。

今年も料理班の方々が、10ヶ国24種類の料理をみなさまのために作ってくださいます。

| 国名 | 料理名 | 種類・特徴等 |
|--------|---------------|----------------|
| 中国 | ポロ | 炊き込みご飯 |
| ウイグル地方 | | ハラール料理 |
| 中国 | コシナン | パイ |
| ウイグル地方 | | ハラール料理 |
| 中国 | ゴマ団子 | 菓子 |
| 中国 | よだれどり 口水鶏 | ゆで鳥 |
| 韓国 | チャプチェ | あえもの |
| 韓国 | トッポキ | もち(辛い) |
| シンガポール | ごころ 五香ゆば巻き | 巻き物(豚肉) |
| タイ | ヤムウーセン | サラダ |
| タイ | フィッシュケーキ | さつま揚げ |
| フィリピン | アドボ | 煮込み |
| フィリピン | レチェフラン | 菓子 |
| フィリピン | レチョンカワリ | 煮込み |
| ベトナム | ゴイクン | なまはる巻き 生春巻き |

| | | |
|-------|------------------|-------------|
| ベトナム | ヤートウ | テリーヌ |
| ミャンマー | ワッタージャマサイ | 煮物 |
| トルコ | キョフテ | ハンバーグ |
| トルコ | ハブチトブレ | 菓子 |
| トルコ | ポテトブレキ | パイ |
| フランス | ラングドシャ | 菓子 |
| 日本 | せきはん 赤飯 | ご飯 |
| 日本 | てん 天ぷら | 揚げ物 |
| 日本 | にく 肉じゃが | 煮物 |
| 日本 | ゆず大根 | 漬物 |
| 日本 | あつや たまご 厚焼き玉子 | たまごや 卵焼き |

おいそうですね！さあ皆さん何からいただきますでしょうか？

～編集後記～

この編集後記を考えた日は、11月22日で、「いい夫婦の日」。いい夫婦の秘訣としては、ある夫婦は「お互いに悪い人になろう」とのことです。メガネを踏んだら、「メガネを踏んだ私が悪い」。そこにメガネを置いたら「メガネを置いた私が悪い」というふうには「悪かった。ごめん」という言葉も相手思いやる大切な言葉のようです。これは夫婦だけでなくボランティアと学習者、ボランティア同士などとの関係にも言えることでしょう。それを念頭にボランティア活動で自身を成長させていきたいと思えます。目指すは「柏崎先生」のような教育技術と人間性！
今後ともよろしくお願ひいたします。(末田)



【編集】会報部会/和田、堤林、岩城、末田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>